

# 分裂する短完全系列の双対も分裂する短完全系列

1

$A, B, C$  で適当な環  $R$  上の加群を,  $A^\sharp, B^\sharp, C^\sharp$  でそれぞれの双対加群を表す.

命題 1.1.

$$A \xrightarrow{f} B \xrightarrow{g} C \rightarrow 0$$

を加群の完全系列とする. このとき,

$$0 \rightarrow C^\sharp \xrightarrow{g^\sharp} B^\sharp \xrightarrow{f^\sharp} A^\sharp$$

も加群の完全系列である.

証明. Step:  $g^\sharp$  は単射である.

( $\because$ )  $g^\sharp c' = 0$  である  $c' \in C^\sharp$  をとる. 任意に  $c \in C$  をとり,  $gb = c$  となる  $b \in B$  をとると,  $c'(c) = c'(gb) = (g^\sharp c')(b) = 0$  なので,  $c' = 0$  である ▲

Step:  $\text{Im} g^\sharp \subset \text{Ker} f^\sharp$

( $\because$ )  $f^\sharp \circ g^\sharp = (g \circ f)^\sharp = 0$  ▲

Step:  $\text{Ker} f^\sharp \subset \text{Im} g^\sharp$

( $\because$ )  $b' \in \text{Ker} f^\sharp$  をとる,  $c' \in C^\sharp$  を  $c \in C$  に対して,  $gb = c$  をみたす  $b \in B$  を好きにとって,  $c'(c) := b'(b)$  とすることで定める. (もし,  $gb_1 = gb_2 = c$  となる  $b_1, b_2 \in B$  で  $b'(b_1) \neq b'(b_2)$  なるものがあると不良定義となる. が,  $0 = g(b_1 - b_2)$  より  $b_1 - b_2 \in \text{Ker} g$  であるので,  $b_1 - b_2 \in \text{Im} f$  なので,  $a \in A$  で  $f(a) = b_1 - b_2$  となるものをとると,  $b'(b_1 - b_2) = b'(f(a)) = (f^\sharp b')(a) = 0$  となるので,  $b'(b_1) = b'(b_2)$  となりきちんと定義されている. ) すると,  $c'(c) = c'(gb) = (g^\sharp c')(b)$  故に,  $g^\sharp c' = b'$  となる. ▲

□

命題 1.2.

$$0 \rightarrow A \xrightarrow{f} B \xrightarrow{g} C \rightarrow 0$$

が分裂する短完全系列であるならば,

$$0 \rightarrow C^\sharp \xrightarrow{g^\sharp} B^\sharp \xrightarrow{f^\sharp} A^\sharp \rightarrow 0$$

も分裂する短完全系列である.

証明.  $h \circ f = \text{id}_A$  を満たす  $h$  が存在するので,  $f^\sharp \circ h^\sharp = \text{id}_{A^\sharp}$  より,  $f^\sharp$  が全射である. 前述の命題と合わせる  
と, 主張が従う. □